

2023年度 第3回 運営推進会議 議事録

- 1 日時 令和5年9月25日(月) 15:00～16:00
- 2 場所 地域密着型小規模特別養護老人ホームはぎの郷 地域交流スペース
- 3 出席者(敬称略)

利用者家族：○谷○○子

利用者：○田○江

地域代表：○田○高(自治会長) ○戸○夫(民生委員)

地域包括支援センター：○地○子

市職員：○野(福祉部介護保険課)

知見者：○本○一(特別養護老人ホームうおずみ施設長)

事業所：宮武昭彦(施設長) 藤原麗子(介護支援専門員)

廣野数宏(介護職員) 藤原康起(介護支援専門員)

欠席者：○田○高

4 会次第内容

(1) 開会の挨拶及び出席確認(施設長)

「はぎの郷」第3回運営推進会議の挨拶の後、出席者より自己紹介いただき会次第に入る。

(2) 施設長挨拶

皆様ご多用のところお集まりいただきありがとうございます。

コロナの為開催出来ていませんでしたが、3年ぶりの開催になります。

はぎの郷は地域密着型の施設の為、家族様、市町村に住む方、その他有識者の方にサービスの内容を明らかにする事によりサービスの質を向上する為に、会議の実施を義務付けられています。

(3) 「はぎの郷」の現状報告(施設長)

現状報告(令和5年8月31日現在)を用いながら入居者の状況及び事業所が取り組んでいるサービス内容を報告する。

(4) 質疑応答・意見交換

① ご意見：(民生委員)

車椅子でのヒヤリが多いけど、改善の為に何かされていますか？以前に比べると薬のミスは減っているようですね。

回答：薬のミスは以前に比べると減っております。車椅子から立ったり動く事が立

つ方は介助方法に徹底するようにしています。マニュアルに沿ってケアしていますが、お恥ずかしながら実際には出来ていない職員もいます。その為研修でビデオを見たり、初心に戻っての対応・お声掛けを行うようにしています。

② ご意見：(特別養護老人ホームうおずみ施設長)

ヒヤリや事故の時系列が分りにくいので日付も入ってる方が良いかなと思います。同じ利用者が事故を起こしている場合もあるかと思うのですが、次に生かせる様にする為にも、日付、利用者様の名前を入れて違う人、同じ人、と分かりやすくして貰った方が有難いかなと思います。

回答：今後利用者様の名前を A 様などイニシャルを入れ分かりやすいようにしていきます。

③ ご意見：(特別養護老人ホームうおずみ施設長)

ヒヤリハットが多く事故が少ないと言うのは普通だと思いますが、ヒヤリハットが上がってきた時にどのように周知されていますか？

回答：ヒヤリがあればそのユニット皆で考えてヒヤリハットに手書きで記入して施設長に届きます。私からのアドバイスその他確認し、他のユニットに回り共有されます。その後発生したユニットに戻り利用者のファイルに戻り利用者のファイルに挟むので、その方がどのような事故が多いのか分かるようにシステム化しています。

④ ご意見：(主任介護支援専門員)

同じ方のヒヤリハットが前もありますか？その場合どのように考えていけないと思いますか？

回答：同じヒヤリを繰り返す利用者様はいます。時間帯であるとか、なぜ起きたのか等ユニットごとで話し合っ。居室で過ごされる方などは本人に了承を得たうえで居室のドアを開けて居室の様子を確認させて貰うなど対応しています。

⑤ ご意見：(特別養護老人ホームうおずみ施設長)

服薬介助のヒヤリの『臨時で出ていた 10 時に服薬してもらった薬を朝食後に服薬していた』と時間の違いの・・・何もなかったのにヒヤリで上げていると思うんですが、事故では？

回答：例えば食後 30 分以内にケースから 2 度チェックした時に 1 錠残っていて食べたものなど全部事故にしている、一時事故が多い多いと皆様にご指導頂いたのですが、職員からもどこからが事故で、どこまでがヒヤリか定義して欲

しいとの話がありまして、服薬の時間が医務に報告して今飲んで大丈夫と間に合った場合はヒヤリハットしようと。飲まないといけない時間帯に対して間に合わない時に関しては事故にしようと定義を変えました。

30分たって飲んで間に合うものに関してはヒヤリで終わらそうと。2重3重4重チェックしているので3重チェックでせっかく引っ掛かっても事故になっていたので引っ掛かった時間で間に合ったならセーフとしましょうと。医務が判断、ドクター通して判断しています。ですので事故っぽいですがヒヤリで上げさせて頂いています。

⑥ 質問：家族様から事故以外でも不安な事や希望あれば・・・。

ご意見：(入居者ご家族)

良くして頂いてるので。いつも笑っててね。ここに来るまでは家で介護していて色々要望も多く、施設に入るのも元々嫌だと言ってたのですが、施設に入った時はいつ帰りたいと言うか不安不安で仕方なかったのですが、今まで一回も言った事がないので。私には本心を言ってくれるので。

何かあった時は言わせて頂きますが、今は無いので大丈夫です。

回答：私は毎朝いつも一周施設内を巡回してから仕事に入りますが、いつもニコッと笑って優しい顔で「おはよう」って挨拶してくれるんです。

⑦ ご意見：(民生委員)

3年たちましてコロナも収まったと言えば収まって来たのかなと思うのですが、コロナ対策を立てられ面会再開されているかと思いますが、面会を再開する決心されたっていうのは何かあったのですか？

回答：そもそもオンライン面談と言われていた時に私たちの法人は無理して1対1の対面面談の実施していたんです。職員には基本の軸には家族様と利用者様の会える機会をなるべく作るというのは私たちの努力。感染対策ということでリスクを減らしていこうと言うことで、5月位からこのまま下がり続ければ8月1日に思い切ってやりましょう。家族様と利用者様と会う機会を少しでも増やしましょう。ただし感染リスクという制限はつけましょうという事になりました。行政や厚生労働省より駄目だよと言われる期間もあり大事な話ですが、私たちが杓子定規になってあれ駄目、外出駄目、食事駄目となり結果、コロナになってないのに家族と利用者様が会うがゼロなのは望まないよねと勇気を持って進もうとなりました。

対策としては勝手なデータですが、まつかぜの郷で2年前大クラスターが起きたのですが服薬、食事、入浴介助の時に起きてるんです。データを取ると。職員が一番顔を近づける時なんです。その日から今日まで必ず食事、服薬介

助もすべて暑いのですが真夏もフェイスシールドを着用させており今も守らせています。6～8月施設内にコロナが入ってきておりません。職員はちよこちよこ子供さんや家族のコロナ移っているのですが利用者に移ってないのはフェイスシールドの効果かなと思います。職員からは夏暑くて汗でビショビショだと苦情もあったのですが耐えてもらって家族様と会う機会を作りましょうとの事で、今の所結果としてコロナ感染者はゼロです。

ご意見：(加古川市福祉部 法人指導課)

フェイスシールドして酷い時には家族様にもしてもらってとなると動いて介助するとなると大変だと思いますが利用者様の事を思えば・・・と言う事ですよね。

回答：実行してくれているので、私がいなくてもしてくれているので大切さが分かってくれているかなと思います。言う方は簡単で、やる方は大変かと思いますがフェイスシールドの効果はありかな・・・と思っています。

ご意見：(加古川市福祉部 法人指導課)

利用者様は高齢ですから少し近づいて話さないければならないし、離れるとべったりではないですが自分たちもある程度距離を持って話してもらえると安心感もあるかと思うので・・・

回答：もし感染者が出たら一度閉じられないのですが今の所一人でも多くの家族様と与えられた時間を有意義な時間を使っていただければと考えています。この間利用者様が「コロナ開けたので妹と服買いたい」との事で服屋に来て頂いて、駐車場で今度10月1日にあるのかな。服を買っていただいたり、月2回セブンイレブンにも来て頂いて買って頂いてなるべく外で出来ていた事をここに持ってきて似たような形で社会との交流、自己判断、自己実現というのを実施していています。

⑧質問：他に何もなければ、逆に施設で困ったことをアドバイスして頂きたいのですが、ユニット型施設で職員のスピーチロック「危ないので座っていて下さいね」と言葉使いをしっかりとした説明と、同意を貰ったとしてもなるべく利用者様には自由にして頂きたいという思いを伝えています。

なぜなら家なので、家の中でずっと座つといてと丁寧な言葉であっても座ったままの状態ですかと言うと、利用者様は自分で動きたかったり色々しようとしたりチャレンジされようとされてる訳です。そこを強く言えば言うほど転倒に関するヒヤリハットが増えていきます。転倒に関する事故が多いです。でも私は転倒事故が全くゼロな施設は逆にロックを掛けてしまっているか、有るものを無かった事になっているかであって健康な利用者様に自分の思いがある。尊重すればするほど転倒事故はつきものだと言いつけています。それ

で家族様に書面で送ると家族様より厳しいお言葉も頂きました。色々言われましたが介護職員には信念を持って利用者様の尊厳を守って行こう。ただ10ある事故を私たちの見守りで6に減らせるし大事故を小さな事故に減らせることは出来るがゼロはおかしいだろうとの話はよくしています。

そのあたりでどのようなご意見かなと思ひまして。この3年間非常に転倒に関しては厳しいご意見を貰っておりまして・・・

例えば、A様でしたら活発に動きたいという性格で、まだADLが残っていて同じ転倒を繰り返されるです。お部屋の中で。それはA様がまだまだ自分で動こうという活力が残ってる証なのですがそれをゼロにしてしまう事が適切な運営なのかと悩んでおりまして。アドバイス頂けたらと思ひまして。

ご意見：(特別養護老人ホームうおずみ施設長)

明石市から、9月に敬老月間のお知らせが来たんです。言葉使いとかを気を付けてと言う通知みたいなもの。それを全職員に回覧したりしていますけど実際にスピーチロック、転倒と言うものはあります。100%防げるものではないと思ひます。転倒を防ごうとするとロックしてしまうしかない。

それしてしまうと尊厳の部分もあるので出来ない。だったら「ちょっと待つ」ではなく、例えばどのくらいに来れます。と話しをします。「5分だけお待ち頂けますか」と話してから離れるようにしています。それによりどのくらい待てば良いんだと、ある程度分かって貰えるのかなと。それで100%防げる訳でなく、忘れてしまったり、我慢できないこともあり無理だろうと思ひますが、やみくもに「ちょっと待つて」は間違っていると思うので、どの位待たないといけない理由などを説明をしないといけないと話している。転倒の予防で職員が見ると言う事はしていますがちょっと側を離れることがあると、不安から立ち上がられる方もいます。どないも出来ない。何もなくて良かったねと終っている事も多く気を付けるしかない。立ち上がるとセンサー鳴る物をつけさせて貰っている方もいるがそれも100%ではないので利用者様の所在確認はしていかないといけないと話しています。

ご意見：(民生委員)

確かに家の中でも転倒して骨折される方は増えていると思ひます。私の兄も転倒し大腿骨骨折しまして私が見守りしている中、玄関先でちょっとつまずいて転倒して1か月ほど入院しまして。車椅子で立ち上がって転倒されると言うのはなかなか有効な対策と言うのは、常に座っているという事になるのかなと思ひますよね。

回答：この前ある会の方で、ずり落ちを2回連続された方がいてその息子様より「車椅子にベルトしてくれ」と言われたのですが、いわゆるロックですね。「依頼されそれは制度上駄目なので、駄目であること伝えると立腹され「ず

り落ちして頭打った時に施設は命の責任とれるんやな。」と言われたのですが、責任もとれませんと。でも駄目なんですと。息子の思いもわかるのですが、預けている間にずり落ちして怪我されるくらいならベルトしてくれた方が安全だと。でも私たちにも立場があり、利用者の動きたいという気持ちを安全だけを大事にして止める訳にはいかないのです、そのあたり家族様にすればどっちを取ったら・・・。

ご意見：(入居者ご家族)

母がデイでお世話になっていた時もデイで、自分で動こうとしてずり落ちして大腿骨骨折して病院行って・・・と。家では無理なので、こっちでお世話になったので。ほんとに難しい時代だと思いました。私もこけてもらっては困るけど ある程度自分で出来ることはさせてあげたいという気持ちもあるけれども、私もずっと側にはいてあげられないしデイから帰って一人ぼっちで、ご飯食べた後、私も家の事あるので帰ってその間にこけたり・・・今思えば元気なうちに動かさせてあげたいなという気持ちですが、実際怪我した身からとすると危ないのも分かっていますので人に寄りますよね。

回答：そうですね。ほんとに難しい。どうですか？法人指導課として・・・そちらに苦情に行かれた事があるので。

ご意見：(加古川市福祉部 法人指導課)

法人課と言うか、個人的な意見になるのですが、怪我はどうしてもしてしまうので怪我の程度に寄るかと思いますが、大きな怪我ならすぐ家族に知らせる。あと見守りをして、ちょっと今日この人の様子が違う。となるとお声掛けすると言うところは大事かなと。家族への連絡は、怪我して骨折したのを何日も家族は知らなくて様子見に来たら実は骨折してたとなると「いつから?!」なると思うので、何かあった時には一言家族に連絡、伝えるのは怪我を防止することにはつながらないですが、あそこの施設に入って居れば何かあった時に施設の人が必ず知らせてくれると言う安心感は家族にとっては大事なことかなと。私個人の意見ですが・・・

回答：地域包括さんはどうですか？

ご意見：(主任介護支援専門員)

確かに落ちたら困るのでベッドの柵を4点してくれと言われてたりよく聞くのですが出来ませんとご説明させてもらったりしていますが、職員大変だと思いますが、どうしてもベッドで寝ないといけないのかなと思ったりしますね。職員の姿が見えなくなると不安になる方がおられるなら5分で帰ってこれるなら待ってもらえるかもしれませんが、こう言うのはどうかは分からないのですが一緒に動くとはどうなんでしょうか。しんどくなったりすると思うので様子見ながらになると思うのでベッドだけではないのかなと言う気も

します。

回答：なるほど。私的に転倒の事故が何件かあってヒヤリが多い時は職員が利用者の尊厳を大事にしているのだなと逆に安心しています。これが私の方を見てしまいゼロになった時、逆に利用者の方を見ていない時の方が運営が始まった時が一番怖いと思って、転倒に関して注意しないように・・・改善については一緒に悩みますが一切注意しないようにして、事故がゼロの時は自分の目で見に行くよと話しています。

質問：あと1点ですが、セブンイレブンさんが来られるのですが1回で3千・4千円使われる方がいて、職員は食べきれないし腐ってしまうので止めようとするんですが、私は止めないで下さいと言っています。私たちも買うだけでストレス解消になる人もいますので必ずいる物だけ買うのだけではないんだよと。いらない家族様に相談して4千円分買っているのですがどうしましょうかと。そんなに買っていけないと言うなら家族様から話して貰って、私たちが職員が買ったり買うなという本人の買い物という社会性に口を出すのではないという話をしたら4千円分ほど買って楽しまれている方もいます。買ったおやつを、食事前に食べて今日は一食食べれないとか職員は健康を気にして食事前だからと言うのですが、それも私は全体止めないでと言っています。私たちも小さい頃、食事前におやつを食べてご飯を残すこと1日位あったでしょうと。3日4日続いたら家族様に相談して言うのですがそのあたりの運営も家族様からした苦情もありますね。3千4千も使買わせてとか。逆にありがたいと言う家族様もいます。自由にさせて貰うて有難う。お金が無くなったらすぐ入れますんで一緒に買いに行けないのがこれ親孝行なんですよと言われる方もいました。そのあたり家族様どのように思われますか？

ご意見：(入居者ご家族)

お母さんが買い物が好きだったので、セブンイレブンの買い物に来てくれるというものの一つの魅力かなと思います。怪我をしてから喪失したのか全然買い物してないので寂しいくらいなので本当に買う意欲がある時は買ってあげた方が・・・。

いずれ無くなるのかなと思ったので買えるうちは多くなってもいいのかなと私は思います。

回答：有難うございます。ちょっと勇気が湧きました。怒られる事も有るので。

ご意見：(加古川市福祉部 法人指導課)

私もどっちかあるかと思えます。親孝行だと言う人もそんなに買わしてどうするのと言う人がいるのも当然かなと思いますけど、自分たちだってそんなに買ってはどうするの、でもこれがねと言うのがあるのでその辺の加減がね

難しいだろうとは思いますが、やっぱり利用者様が自由に出来る所は自由にするのは良いんじゃないかなと私は思います。これは個人の見解で申し訳ないのですが。

回答：家族様と利用者様の同じ方向だと有難いのですが、意外と相反する事も有るのですが、その時は職人には主権者は利用者様ですよ、私たちが契約しているのは利用者様なので、まず親子で話合って貰うけれどそれでも合わなければ、危険性さえなければ利用者様優先して買って貰おうと思うのですがその分、家族様にはまた怒られてしまいますけど。

ご意見：(加古川市福祉部 法人指導課)

家族様がそう言ってこられた時には職員さんと利用者さんと家族さんとの話し合いの場を持たれると言う事ですか？

回答：そうです。それで利用者がこのように買っておられるんですが、やっぱり家族様の中には経済的な問題のある方もおられるので、毎回毎回4千円でも一つもつもお金を入れるのは。と言われる方もおられるのですが、そのような利用者様に限ってたくさん買われる場合もあるので問題化したのですが・・・。

ご意見：(加古川市福祉部 法人指導課)

やっぱり理解して貰えたりはありますか？

回答：理解して頂ける方は8割位で、2割は板挟みですね。でも利用者様が喜んで楽しんで買い物しているのを見ると、止められ無いですし職員にも止めないようにと。ADLから考えてお餅は食べられない方が、お餅を買おうとしても止めないようにと。家族様からすると食べれない物を買うのを止めるのが職員の仕事でしょう。と言われる事も有りますがどうなのでしょうね。欲しい物を買えるというのが生きている証だと思うのですが、自分たちも買えない物を買って怒られることもあるのですがそれも生きている証なのかなと。お餅は本人様が食べれる、食べれないとの認識してなかったかもしれませんが、昔お餅が好きだった思い出があったかもしれない。出来るだけ止めないでやって欲しい。皆で家族に怒られようというスタイルです。地域包括さんはどうですか？

ご意見：(主任介護支援専門員)

良いかなと思います。自分が食べれる食べれないは関係なく欲しいなと思うものを買える、買い物したいなと思う気持ちは大事にしたいなと思いますし。買い物の車が来るのは平日なんですよ。お買い物をしておられる姿、表情を家族様が見て頂けたらまた変わってくるのかなと。平日お仕事があつて来れない方・・・選んでるのを見れる様になればまた変わるかな・・・と。

回答：なるほど。そういう機会も作っていききたいと・・・10月1日(日)のお洋服

の買い物は家族様と一緒に買い物してみてくださいという機会です。利用者様より希望があって「服を買いたい」と。

ご意見：(主任介護支援専門員)

希望と要望があってそれを実現してくれているのは嬉しいし有難いかなど。

ご意見：(特別養護老人ホームうおずみ施設長)

素晴らしいな・・・と。うちはコープの宅配で発注し希望されたものを買うような形でしているのですが、家族様から怒られる事があります。「何いらない物を買ってるのや」と。職員に言ってるのは買いすぎ。せっかく買ったものを無駄にするのは。人の大事なお金なので何度も同じものを何度も買ったり、間違えたり買ったものを置いておいて腐らせたり。処分しないとイケないとなるとその人のお金を捨てるようなものでそれは絶対にダメだと。本来であれば利用者様が買いに出て自分で選ばれるのはすごく理想的なのであらやましいなど。

ご意見：(民生委員)

買い物でのワクワク感であったり、機会を与えられるであれば持ってもらえるのは良いのかな・・・。自分で考えて脳に刺激を与えるのは重要なと思います。

回答：お忙しい時間、色々アドバイスやご意見いただき有難うございました。今日頂いたものを必ずユニット職員に伝えて全体のレベルアップに繋がりたいと思います。また次回もございます。宜しくお願いたします。

以上

次回は令和5年11月27日開催予定

